

イタリア歌曲の神髄

ディエゴ・トリオを招いて、イタリア歌曲の珠玉の名曲を！

情熱、 愛、死、 運命

Tenor



テノール
ディエゴ・カヴァッツィン
Diego Cavaccin

Soprano



ソプラノ
ソフィー・ゴルデラーゼ
SOPHIE GORDELADZE

Piano
Conductor



指揮・ピアノ
ディエゴ・クロヴェッティ
Diego Crovetti

G.ドニゼッティ「愛の妙薬」より “人知れぬ涙”
G.プッチーニ「蝶々夫人」より “ある晴れた日に”
G.ヴェルディ「リゴレット」より “女心の歌”
G.プッチーニ「トスカ」より “歌に生き恋に生き”
G.プッチーニ「ラ・ボエーム」より “冷たい手を”
G.プッチーニ「ラ・ボエーム」より “私の名はミミ”
G.プッチーニ「ラ・ボエーム」より “ああ、麗しの乙女”

T.コットラウ “サンタ・ルチア”
S.カルディーロ “カタリカタリ”
E.デ・クルティス “勿忘草”
E.デ・クルティス “帰れソレントへ”
G.プッチーニ「ジャンニ・スキッキ」より “私のお父さん”
G.プッチーニ「トゥーランドット」より “誰も寝てはならぬ”
G.ヴェルディ「椿姫」より “乾杯の歌”

※出演者・曲目は已むを得ない事情により変更になる場合がございます。

特別
協賛



フェドラ

株式会社

エムワイ工業



株式会社 藤田ビジネスプロモーター

2026年 6月28日 [日] Sunday, June 28th, 2026 14:00 (Open 13:30)

14:00開演(13:30開場) 高崎芸術劇場 音楽ホール

全席指定(税込) 前売 S席4,000円 A席 3,000円 当日 S席4,500円 A席3,500円 学生 2,000円

[主催] 株式会社 空間あい [共催] ベルカントジャパン合同会社 [後援] 高崎市、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA

18歳以下100名無料招待
(未就学児不可)

令和8年度 文化庁 劇場・
音楽堂等における子供舞
台芸術鑑賞体験支援事業



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

ミラノからディエゴトリオを迎えて

イタリアオペラの名曲は、伝統的な舞台を超え、スポーツや現代社会に新たな感動をもたらしている。選手たちがオペラ楽曲を用いることで、演技や競技の価値が高まり、観客もより深い感動を味わうことができる。誰もが、一度耳にしたことがある、プッチーニ作曲のオペラ『トゥーランドット』の aria「誰も寝てはならぬ(Nessun Dorma)」は、壮大な旋律と高揚感に満ちた楽曲で、主人公カラフが勝利を確信し、希望を歌い上げる。この aria は、力強さと美しさを兼ね備えており、荒川静香が、2006年トリノオリンピックのフリー演技でこの楽曲を選び、華麗なイナバウアーとともに観客を魅了した。彼女の演技は、音楽とスポーツの融合による新たな伝説を生み出し、日本初の女子フィギュア金メダルという偉業を達成している。

あれから20年、『Time To Say Goodbye』はイタリアのテノール歌手アンドレア・ボチェッリと英国のソプラノ歌手サラ・ブライトマンによって広く知られるようになった楽曲で、明るくドラマティックな旋律と、希望や別れを感じさせる歌詞が特徴で、坂本花織はミラノ・コルティナ五輪でこの曲を使用し、力強さと繊細さを兼ね備えた演技を披露した。彼女の滑走は、楽曲の持つ感情の豊かさとスポーツの躍動感を見事に融合させ、観客に深い印象を残した。

プッチーニは、19世紀末から20世紀初頭に活躍したイタリアの作曲家で、情熱的かつドラマティックな作品で知られており、『誰も寝てはならぬ』は、テノール歌手ルチャーノ・パヴァロッティによって世界的に有名になり、アンコールでもよく披露される。

また、『Time To Say Goodbye』はボチェッリの温かみのある声の特徴で、彼のライブやアンコールでも頻繁に歌われ、観客との一体感を生み出している。

イタリアオペラは、感情表現と壮大な音楽性の特徴で、伝統的なオペラは、劇場での生演奏が主流である。今回登場するディエゴトリオは、ミラノを中心に演奏活動をひろげており、プッチーニを中心に、イタリアオペラの名曲そして歌曲の珠玉を披露する。情熱、愛、死、そして運命をドラマティックに表現し、今回、高崎芸術劇場にはじめて登場する。現代では、スポーツイベントや映画、テレビでも広く使われ、名曲を舞台で実演芸術として堪能できるまたとない機会、ariaや名曲は、聴衆の心に訴え、人生のドラマを強調する役割を担い、芸術的価値を示して、私たちに深い感動を与えてくれる。特にイタリアオペラの名曲は、言語や文化の壁を越えて人々の心に響き、勝利や別れ、希望といった普遍的なテーマを象徴的に表現し、演技に込められた心情や物語が音楽と一体となることで、観客はより深い感動や共感を覚え、人生のドラマをとともに体験することができる。今回の演奏会で、イタリアオペラの名曲が、皆様に、様々な分野で新たな感動の感じてもらえることを確信している。

また、オペラ劇場や日本で開催される大会やアイスショーでは、和服で観戦して、雰囲気華やぎ、海外のアーティストや選手やファンもから喜ばれることが多い。凛とした姿勢、背筋が伸びるために、長時間の鑑賞、観戦でも疲れにくいという。その華やかさを醸し出すために、和服で来場していただける方のみ招待することにした。詳細は、弊社までご連絡を

6/23まで

株式会社 空間あい 新井淳

当日お着物でご来場のお客様をご招待 — 要事前連絡(枚数に制限有り)

オペラ・イタリアーノ “ディエゴ・トリオ”

指揮・ピアノ **ディエゴ・クロヴェッティ** *Diego Croveti*

イタリア・ミラノ生まれ。現在イタリア・ヨーロッパを中心に活躍する若手指揮者である。ミュンヘンにおいてピアノをカストレン氏に師事。音楽史をミラノ大学で学ぶ。後に指揮者F.フェリス氏のもとで研鑽を積む。オペラ指揮者として2002年「アイダ」をハイデルブルク野外劇場(ドイツ)、2006年「トスカ」を釜山歌劇場、2006年「道化師」と「ランメルムールのルチア」をカンザス・グランド歌劇場(アメリカ)、2008年「トスカ」と「アイダ」をロシア・チェリアピンスクのオペラフェスティバル、2009年「カルメン」を釜山歌劇場にて指揮。ベリニ国際声楽コンクール(イタリア・カターニャ)本選にて指揮。コレペティとしても1997年～2001年までオーストリア国立グラーツ歌劇場等で活躍。またミラノ・スカラ座、東京・新国立劇場にも招聘される。伴奏者としては、J.クーラ、G.ジャコミニ、C.リッチャレリ、B.フリットリー等、世界的な歌手と世界各地で共演する。ヴィオッティ国際声楽コンクール、サンドナーイ国際声楽コンクール専属伴奏者などを務める。「カヴァレリア・ルスティカーナ」(オーケストラ・フィルハーモニー・イタリア)がCDデビュー作となり、現在発売中である。

ソプラノ **ソフィー・ゴルデラーゼ** *SOPHIE GORDELADZE*

イタリア、ヨーロッパで活躍しているジョージア出身のソプラノ歌手、ソフィー・ゴルデラーゼは、ヘンデル作曲「アルチーナ」の主役から、モーツァルト作曲「イドメネオ」のエレトラ、「フィガロの結婚」の伯爵夫人、「ドン・ジョヴァンニ」のドン・アンナ、ロッシーニ作曲「ギヨーム・テル」のマチルデ、そしてヴェルディ作曲「ジョヴァンナ・ダルコ」の主役やルクレツィア・コンタリーニ作曲「二人のフォスカリ」(いずれもマルクス・ボッシュ指揮、ハイデンハイム・オペラ・フェスティバルのライブ録音で入手可能)まで、幅広いレパートリーを展開しています。ゾフィーは2024年にマルタ共和国ゴゾ島のアストラ劇場でジョヴァンナ・ダルコを再演します。

テノール **ディエゴ・カヴァツツィン** *Diego Cavaccin*

イタリア、ミラノ近郊のアンジェラに生まれる。R.アントニアツィ、C.アントニオに師事、ヴォーグラー音楽院を修了。2012年オリヴィエート国際声楽コンクールで優勝し併せて聴衆賞を獲得する。また2014年フランクフルト近郊のブラウンフェルス城で開催されたヴェルディ・オペラ「運命の力」で主役に抜擢されその輝かしい歌声は絶賛される。オペラデビューは2011年「蝶々夫人」ピンカートン役を北欧ツアーで果たす。その後もミラノ、ローマ、ベルガモなどの劇場で好評を得る。

チケット取り扱い

3月22日(日)チケット発売

■ Web

高崎芸術劇場
メンバーズ
(要・無料登録)



■ 窓口

・高崎芸術劇場チケットカウンター
・群馬音楽センター
・高崎市文化会館
・高崎シティギャラリー
ほか 高崎市施設プレイガイド

■ 電話

高崎芸術劇場チケットセンター
027-321-3900(10:00~18:00)

■ 株式会社 空間あい

090-1815-4608 info@kuukanai.com

ゆうちょ銀行 振替口座 00280-2-141735
カ)クウカンアイ

※上記にご送金いただければ
チケットを送付します。

WEBサイトからも購入できます▶



本公演S席と右記2公演の入場料の合計12,000円を**セット券10,000円**で販売します。
予約は(株)空間あいへメール、電話かWEB(右のQRコード)でお願いします。

6月23日
まで

(枚数に制限あり)

お得な 3公演セット券 のご案内

ヴァン・マルディロシアン迎えて ～珠玉の名曲集～

6/24
(水)
14:00開演

前橋 汀子

ヴァイオリニスト

入場料:A席4,000円



8/3
(月)
18:30開演

大嶋 義実

デュオ・リサイタル

入場料:S席4,000円



2本の純金フルートが描くプラハの想い出